

# 美術科学習指導案

日 時 平成28年 7月 11日 (月)  
 第5校時 13:35-14:25  
 対 象 第1学年 1組 33名  
 学校名 大田区立貝塚中学校  
 授業者 教諭 松尾 英治  
 会 場 3階 美術室

- 1 題材名 ライブペインティングを鑑賞し、対話を通じて学ぶ。  
 -自分の考えを深める鑑賞のために- 第1学年「B鑑賞(1)ア」
- 2 題材の目標 造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などに対する思いや考えを説明し合うなどして、対象の見方や感じ方を広げる。
- 3 題材の評価規準

	ア 美術への関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
題材の評価規準	美術の創造活動の喜びを味わい、身の回りの造形や美術作品、美術文化などに関心をもち、主体的によさや美しさを感じ取ろうとしている。	感性や想像力を働かせライブペインティングで描かれた作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫を感じ取ろうとしている。
学習活動に即した評価規準	ア① ライブペインティングで描かれた作品の造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心をもち、主体的に感じ取ろうしている。	エ① ライブペインティングで描かれた作品の造形的なよさや美しさ、対象のイメージ、作者の心情や意図と表現の工夫などを味わっている。

## 4 指導観

- (1) 題材観 第1学年では、感性や想像力を働かせ造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫を感じ取る能力を高めることをねらいとしている。本題材は教員がライブペインティングで描いた作品の鑑賞をワールド・カフェ方式で鑑賞することで、作品等に対する思いや考えを説明し合うなどして、対象(作品)の見方や感じ方を広げる。
- (2) 生徒観 素直に意見を言える雰囲気があり、活発な鑑賞活動が予想される。これまでにデッサンや色彩の学習を通して、表現する能力を高めてきた。本時は鑑賞する視点を身につけるきっかけとなるようにライブペインティングで描かれた作品を鑑賞する。鑑賞方法として、ワールドカフェ方式により、鑑賞における気づきを軸に授業が展開されることが期待される。
- (3) 教材観 教員が描くライブペインティングは、筆のタッチや素材のもつ雰囲気など、より造形的なよさを感じ取ることができる教材である。また、作者(=教員)の心情や意図と表現の工夫を伝えることもできる。



## 5 年間指導計画における位置づけ

表現においては1年生ではデッサンや色彩の学習を行い、基礎的な技能を高めている。日本美術は主に2年生で学習予定であり、1年生では身近な地域や日本及び諸外国の美術の文化遺産などを鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、美術文化に対する関心を高める。

本時は今後の指導において、日本の伝統文化を感じ取れるような作品等を鑑賞することへ繋げるための授業である。

## 6 題材の指導計画と評価計画

本事例は1時間の構成のため省略をしている。

## 7 指導にあたって

### (1) 指導形態

ワールドカフェでのグループは4名（もしくは3名）とする。

### (2) 指導方法の工夫

ワールドカフェでの他者の意見に基づく気づきを共有化するために、模造紙を黒板に貼り、発表させる。

### (3) 教材の工夫

教員が描くライブペインティングを見て、ワークシートに自分の意見をまず書かせ、その後ワールドカフェへの展開とする。

## 8 本時

### 1. 本時の目標

鑑賞する視点を身に付け、作品の見方や感じ方を広げる。

### 2. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点・配慮事項	学習活動に即した具体的な評価規準（評価方法）
導入 15分	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本時の目標を把握する。</li><li>・ ワークシートを配布し、本時の活動内容・スケジュールについての話を聞く。</li><li>・ 作品を鑑賞し、第一印象をワークシートに書く。</li><li>・</li><li>・ 描かれているものの形はどうか、どのように配置されているか、どのように色になっているかを発問する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本時の目標と扱う作品を説明する。</li><li>・ 教科書を立たせ、実際の屏風に近い状態で鑑賞する。</li><li>・ 第一印象を損なわないように作品についての説明はしない。</li><li>・ どのように見るかという視点を確認する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 関① 積極的にワークシートに考えを書いている。</li><li>・ Cと判断した生徒には単語だけでも良いことを伝える。</li></ul>



<p>展開 25分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隣の席の生徒と作品の第一印象について、2分間意見交換する。(状況により省略する)</li> <li>・ 机を生活班の形にして、男子2名女子2名の4名ずつのグループを作る。 向かい合った時に男女が交差するようにする</li> <li>・ ワールドカフェ方式の議論を開始。この議論は5分とする。出てきた意見は模造紙に記入する。</li> <li>・ 各テーブルに1名を残し、他の生徒は指定された各テーブルに席を移動する。 (移動は1回のみ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一人あたり1分を目安に互いに意見を発言させる。</li> <li>・ 議論の際、出てきた意見は何でも記入させる。鑑賞したことによる気付きには正解も不正解もないことを確認する。色ペンを使い、視認性が良く書くように指導する。</li> <li>・ 残った1名が前回の議論を簡単に説明した後、2度目の議論を開始するように指導する。自分で考えた以上の気付きがあるか、発問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鑑① 言葉で考え整理できている。 Cと判断した生徒にはまずは、擬音語、擬態語など、整理されていない言葉でも良いことを伝える。</li> </ul>
<p>まとめ 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループでの発表の内容を話し合う。</li> <li>・ 2度目の議論終了後、模造紙をもとに生活班ごとに発表する。</li> <li>・ 今回鑑賞し、議論したことからどのように作品の見方や感じ方を広かったか発問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班で話し合った際、できるだけ特徴的な意見を発表させる。</li> <li>・ 他のテーブルの意見を聞かせる。</li> <li>・ 作品を見ながら発表を聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鑑① 議論したことからどのように作品の見方や感じ方を広かったかがワークシートに書かれている。 Cと判断した生徒にはワークシート返却の際にコメントする。</li> </ul>

### (3) 授業観察の視点

<目標> 作品の見方や感じ方を広げる

<展開> ワールドカフェで生徒が新たな気付きを得られているか

<学習活動に即した評価 指導上の配慮事項>

生徒の関心を高める学習活動の工夫ができたか

ワールドカフェで作品をみる感性が広がったか



#### (4) 板書計画

学習のめあて

鑑賞した自分の意見を深める

鑑賞のポイント

- ・色や形など造形的な美しさはどうか
- ・作者はどんな気持ちで描いただろうか
- ・筆のタッチ等にも注目してみよう

鑑賞の流れ

今回はワールドカフェ方法で話し合う。

- ① 第一印象をワークシートに記入する。
- ② 討論      話し合いをする。 ラウンド1  
             模造紙にペンで書きながら話し合い  
             →席替え（一人は残る） ラウンド2
- ③ シェア      模造紙を黒板に貼って、発表する。
- ④ 振り返り   話し合いを終えて、感想を書く。

B鑑賞(1)ア

ライブペインティングを鑑賞して、対話を通じて学ぶ。

ライブペインティングを鑑賞して、どんなことを感じ取りましたか。

.....

.....

.....

班で話し合われたことを書いてください。

.....

.....

.....

話し合いをして、自分の考えはどのように広がりましたか。

.....

.....

.....